

フィナンシャルレポート 2005

Colors of Convergence

目次

6年間の主要財務データ	2
財務報告	3
連結貸借対照表	6
連結損益計算書	8
連結株主持分計算書	9
連結キャッシュ・フロー計算書	10
連結財務諸表注記	11
独立監査人による監査報告書	23
投資家情報	24

6年間の主要財務データ

沖電気工業株式会社および連結子会社
2000年から2005年までの3月31日に終了した各年度

	百万円						千USD(注)
	2005	2004	2003	2002	2001	2000	2005
年度:							
売上高	¥ 688,542	¥ 654,214	¥ 585,473	¥ 604,572	¥ 740,250	¥ 669,776	\$ 6,434,975
売上原価	504,340	484,455	445,709	490,257	563,368	513,402	4,713,458
売上総利益	184,202	169,759	139,763	114,314	176,882	156,374	1,721,517
営業利益(損失)	27,220	21,606	1,368	(27,247)	28,314	13,804	254,393
その他の(費用)収益	(8,920)	(19,410)	(4,602)	(29,643)	(10,008)	(7,288)	(83,369)
税金等調整前当期純利益(損失)	18,299	2,195	(3,233)	(56,890)	18,306	6,515	171,023
当期純利益(損失)	11,174	1,328	(6,560)	(34,077)	8,944	1,146	104,439
期末:							
流動資産合計	¥ 375,043	¥ 379,795	¥ 382,942	¥ 369,383	¥ 433,240	¥ 481,450	\$ 3,505,075
投資および長期債権	61,492	58,615	42,796	49,254	75,961	28,210	574,697
有形固定資産	126,470	119,662	136,355	163,844	176,731	170,408	1,181,969
その他資産	45,008	51,487	60,797	69,099	46,548	58,202	420,641
資産合計	608,015	609,560	622,891	651,581	732,483	748,432	5,682,384
流動負債合計	313,828	311,676	307,548	305,877	351,578	326,465	2,932,980
固定負債合計	163,369	181,645	208,410	231,322	226,678	273,258	1,526,815
資本合計	124,827	110,499	101,323	109,066	148,844	142,563	1,052,374
資本金	67,877	67,862	67,862	67,862	67,862	67,862	646,308

	円						USD(注)
	2005	2004	2003	2002	2001	2000	2005
1株当たり指標:							
1株当たりの当期純利益(損失)	¥ 18.27	¥ 2.17	¥ (10.72)	¥ (55.66)	¥ 14.60	¥ 1.87	\$ 0.17
1株当たりの配当金	3.00	—	—	—	5.00	—	0.02
株主数	99,735	100,778	115,215	107,165	97,726	100,723	
従業員数	20,410	20,960	22,520	23,597	25,626	25,444	
比率(%):							
自己資本当期純利益率	9.5%	1.3%	(6.2)%	(26.4)%	6.1%	0.8%	
総資産当期純利益率	1.8	0.2	(1.0)	(4.9)	1.2	0.1	
自己資本比率	20.5	18.1	16.3	16.7	20.3	19.0	

注:USD表示は、便宜上、2005年3月31日現在のおよその為替相場1USD=107円で換算しています。

財務報告

沖電気工業株式会社および連結子会社

2004年度の概況

当期は、国内では輸出の伸びや企業収益の改善に鈍化の傾向が見られたものの、一方では設備投資が緩やかに増加するなど、市場は全般的には穏やかな回復が見られました。海外では中国を中心としたアジア諸国や米国での景気が拡大しています。急激な円高ドル安の進行、デジタル景気の終了などの懸念材料はあるものの、景気は概ね回復基調にあったといえます。

沖電気グループの事業領域におきましては、大手通信キャリア各社のブロードバンドIPネットワークへの積極的投資、オフィス向けカラープリンタ市場の拡大など良好な環境にありましたが、一方では、金融機関の新紙幣対応需要が終了したほか、自然災害などによる官公庁のIT投資の抑制・繰延べに加え、当期後半からは半導体市況が軟化するなどの状況も見られました。

このような市場環境の中、当期の連結売上高は6,885億円(前期比5.2%増)となりました。利益については、連結営業利益は前期から56億円増加の272億円で、連結経常利益は前期から87億円増加の212億円、連結当期純利益につきましても、前期から99億円増加の112億円と、増収増益を達成しました。

事業セグメント別の状況

情報セグメント

オフィス向けカラープリンタ市場の急速な拡大に伴う売上増加があった一方で、新紙幣需要が2004年度上期でほぼ終了したことによりATM売上が大幅に減少したほか、自然災害などによる企業、官公庁のIT投資の繰延べなどの結果、外部顧客向け連結売上高は前期比6.8%減の3,358億円となりました。

一方、営業利益については、プリンタの新商品や金融次期システムを中心とした研究開発費の増加、官公庁や金融機関向けシステムの競争激化による価格下落などが影響し、前期の240億円に対し97億円減の

143億円となりました。

なお、金融機関は今後、ITシステムや統合ネットワーク、ATMのセキュリティ強化などの投資へ重点を移していくと考えられます。沖電気グループはこれらに対応した新商品の創出を強化し持続的な成長を図ってまいります。

通信セグメント

通信キャリア各社によるブロードバンドIPネットワークへの積極的な投資拡大などにより、地域IP網用システム、既存公衆網をIPネットワークに収容するシステムなどへの需要が大幅に伸びました。また企業の設備投資についても、情報通信融合関連機器へのニーズが増えつつあります。これにより、連結売上高は前期比29.3%増の1,353億円となりました。

営業利益については、売上の大幅な増加にともない、前期の34億円から45億円増えて79億円となりました。

通信キャリア各社は、FTTHや光IP電話への積極投資を長期的に進めることを表明しています。また、ブロードバンドIPネットワークの充実により、さまざまなアプリケーションやサービスが生まれてまいります。沖電気グループは、これらの事業機会を適切に捉え事業の拡大を図ってまいります。

電子デバイスセグメント

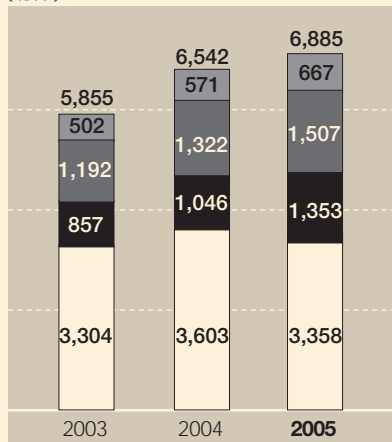
当期前半は好調であった半導体市況は、下期から成長が鈍化しました。中国での携帯端末の在庫調整の影響を受け、音源LSIやPHS用ベースバンドLSIなどの需要が減速しました。また、液晶パネル用ドライバLSIは、パネルメーカの新工場稼働などにより需要は増加したものの、下期は価格下落の影響を受けました。一方、電子辞書やアミューズメント市場向けのシステムメモリの売上が増加しました。この結果、連結売上高は前期比14.1%増の1,507億円となりました。

営業利益につきましては、売上の増加や事業の再構築によるコスト削減、光コンポーネント事業の回復などにより、前期の23億円から97億円増の120億円に改善いたしました。

半導体市況の回復は2005年度中盤以降とも見られていますが、沖電

売上高

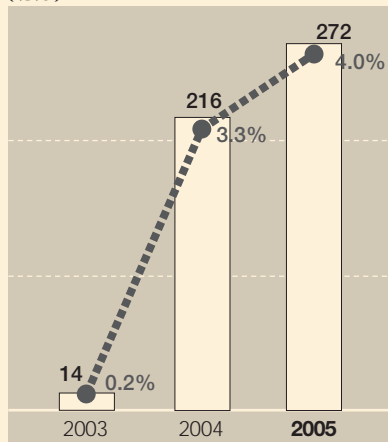
(億円)



□ 情報セグメント
■ 通信セグメント
■ 電子デバイスセグメント
■ その他

営業利益と営業利益率

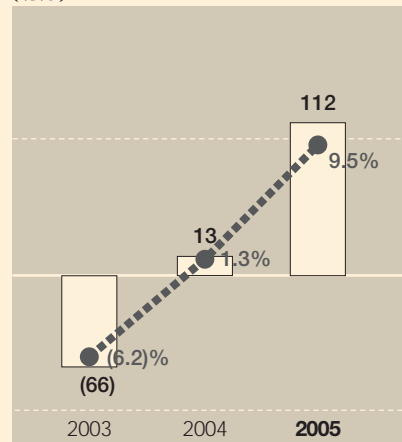
(億円)



□ 営業利益
● 営業利益率

当期純利益(損失)と株主資本利益率(ROE)

(億円)



□ 当期純利益(損失)
● ROE

財務報告

気グループの得意とする「パーソナル・モバイル」市場向けに特徴のある商品を提供し、またコストダウンを推進することにより安定的な収益の確保をめざしてまいります。

財政状態

総資産等の状況

前期末に対して総資産は15億円減少し、株主資本は143億円増加したことから株主資本比率は20.5%と2.4ポイント改善いたしました。

増減の主なものは、流動資産では現金および預金が88億円減少、受取手形および売掛金が94億円減少、たな卸資産が103億円増加しています。固定資産では有形固定資産が68億円増加し、投資有価証券が34億円増加しています。

負債は161億円減少していますが、借入金の返済等により有利子負債が263億円減少したこと、仕入債務が73億円増加したことが主な要因です。

キャッシュ・フローの状況

当期の営業キャッシュ・フローは、税引前利益が大幅に良化したもののたな卸資産が増加したことなどにより、前期の923億円の収入に対し330億円悪化して、593億円の収入となりました。

投資キャッシュ・フローにつきましては、固定資産取得による支出が増加し、前期の192億円の支出に対し223億円悪化して、415億円の支出となりました。

営業キャッシュ・フローと投資キャッシュ・フローをあわせたフリー・キャッシュ・フローは前期の731億円の収入に対し、553億円悪化し178億円の収入となりました。

財務キャッシュ・フローは、長期借入金の返済により269億円の支出となりました。

その結果、現金同等物等の期末残高は前期末581億円から87億円減少し、494億円となりました。

設備投資額・減価償却費と研究開発費

設備投資額は、カラープリンタや半導体の新商品開発に向けた設備導入などにより、前期比110億円増加し、378億円となりました。また、減価償却費は前期比11億円増加し、255億円となりました。

研究開発費は、前期比59億円増の220億円となりました。これは主に、カラープリンタの商品ラインナップ拡充、情報通信融合商品の強化、システムLSIのソフト開発などによるものです。

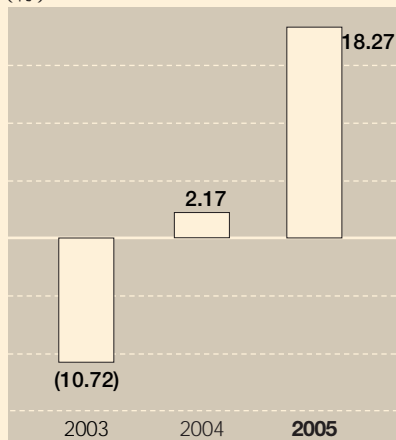
事業等のリスク

沖電気グループにおける事業等のリスクのうち、主要なものは以下の通りです。これらのリスク発生の可能性を認識し、その発生回避を図るとともに、発生した場合の影響の最小化に取り組んでまいります。

- ・国内外の経済状況の変動による主要市場の景気後退やそれに伴う需要の縮小
- ・急激な技術革新による現有技術の陳腐化
- ・価格競争激化によるコスト面での競争力の減少
- ・資材等を安定的に調達できない場合の製品出荷の遅延、納入延期、機会損失
- ・海外生産・販売活動において、為替レートの変動や、現地通貨価値の変動、経済状況の悪化などの予期せぬ事象の発生
- ・金利変動による金利負担の増加
- ・災害等による影響
- ・特許獲得や他社特許利用の確保が不十分な場合や、知的財産権を侵害しているとされた場合
- ・各種の公的規制などが遵守できない場合の事業活動が制限される可能性
- ・優秀な人材の確保・育成ができない場合や優秀な人材が大量離職した場合
- ・業績変動による繰延税金資産の取り崩し
- ・割引率等の前提条件の変化による退職給付債務の増加
- ・その他、前提条件の変化に伴う計画の未達成

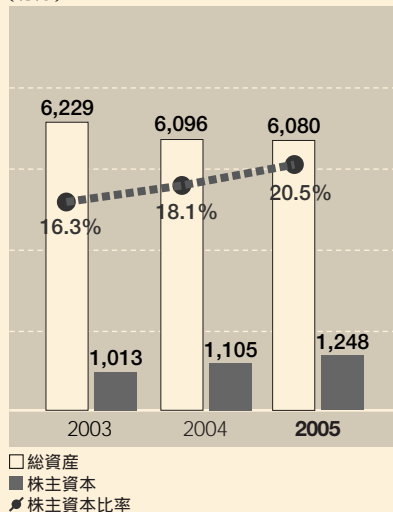
1株当たり当期純利益(損失)

(円)



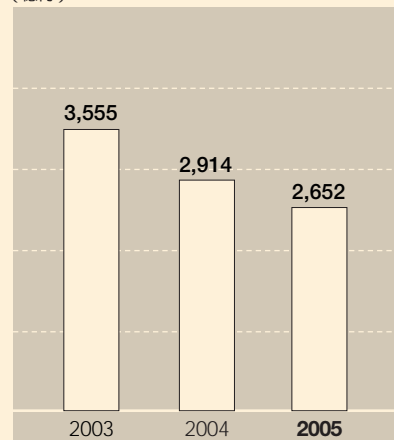
総資産、株主資本と株主資本比率

(億円)



有利子負債残高

(億円)



2005年度の見通し

次期の経済環境の見通しにつきましては、在庫調整の完了、需要の回復などにより一部では生産に回復が見られるものの、IT関連投資の停滞、輸出の減速、原油高の景気への影響、半導体市況の回復の遅れなどの懸念材料もあり、景気回復に一服感が出てきています。

沖電気グループは2005年度より、独自の技術を活かしたコア事業、成長市場へのいっそうの経営資源の集中によってさらなる成長を図るため、従来の「情報」「通信」「電子デバイス」の3事業体制を「情報通信システム」「半導体」「プリンタ」の3つの新セグメントへと再編いたします。

情報通信システム事業においては、通信キャリアの投資がブロードバンドIPネットワークからFTTHに移行しつつあります。金融機関ではセキュリティ関連を中心にIT投資の回復の兆しが見られるものの、金融市場をはじめとする情報分野では競争がさらに激化しています。半導体市場の成長は、上期は底這い状態であり、下期から回復すると想定しています。またプリンタ分野では、オフィス向けカラープリンタ市場は引き続き拡大するものの、価格競争がさらに激化することが予想されます。

このような状況のもと、2005年度の業績予想については、以下のよう

2005年度通期業績見通し

売上高 (億円)	営業利益 (億円)	当期純利益 (億円)	1株当たり 予想当期純利益 (円)
7,200	285	115	18.80

コーポレートガバナンス

経営の透明性・公正性を確保し、ステークホルダーからの信頼に応えるべく企業価値を継続的に高めていくことが、経営の最重要課題の一つであると認識しています。このためにコーポレートガバナンスの拡充に向

けて、さまざまな取り組みを行っています。

施策の実施状況

従来からの取締役、監査役制度に加え、経営諮問委員会および報酬委員会を設置しており、社外取締役1名、社外監査役2名を任用しております。また、執行役員制度を導入し、経営と業務執行を分けることにより、経営の効率性の向上を図っています。

月次開催の取締役会においては、経営の基本方針およびその他の重要事項を決定するとともに業務執行の監督を行っています。また、原則週1回開催のマネジメント会議において沖電気グループの業務執行に関する重要事項の決定を行うほか、各事業部門からの業務執行に関する主要な報告を受けています。マネジメント会議にはCEOのほか常務執行役員以上および監査役が出席し、ガバナンスの徹底を図っています。

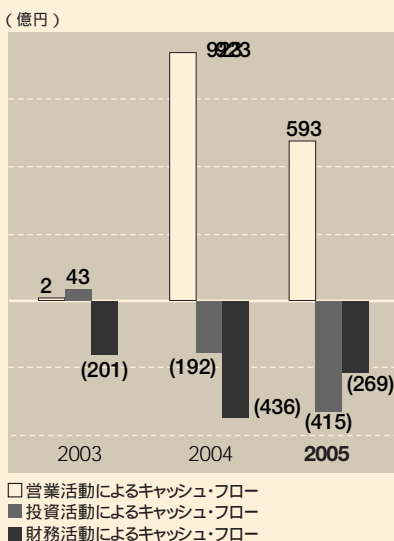
経営諮問委員会は、トップマネジメントのアドバイザー機関であり、社外の有識者の参画により、経営の透明性、健全性を向上させることを目的としております。代表取締役の社内委員3名、社外委員3名で構成されます。報酬委員会は、取締役、執行役員、執行参与の報酬の水準・仕組みの透明性を維持するもので、代表取締役3名で構成されます。経営諮問委員会および報酬委員会は原則年4回開催しています。

なお、社外取締役が就任する会社とは営業取引がありますが、人事および資金面の取引はありません。また、社外監査役は沖電気グループの出身ではありません。

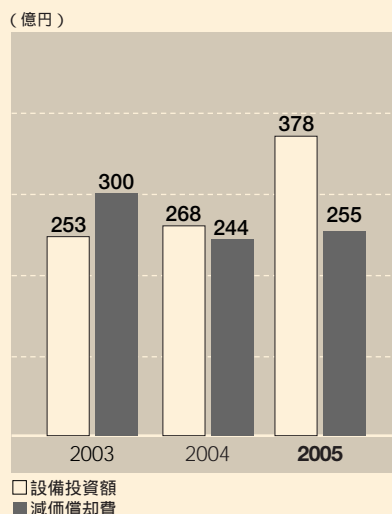
さらに、沖電気グループのコンプライアンスについては、法令および社内規程の遵守を求める「沖電気行動規範」を制定し、コンプライアンス意識の強化を図るとともに、グループ全体でコンプライアンス体制を強化することで不祥事の発生防止に努めています。CCOをトップとする「コンプライアンス委員会」が基本方針を審議・検討し、「コンプライアンス推進部」が具体的な諸施策を企画・立案・推進しています。

また、株主、投資家の皆様に対しては、経営説明会や決算説明会あるいは沖電気グループのホームページ等を通じて経営情報の迅速かつ適切な開示を行ってまいります。

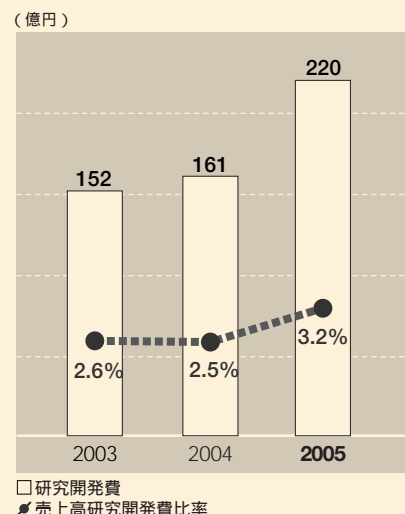
キャッシュ・フロー



設備投資額と減価償却費



研究開発費と売上高研究開発費比率



連結貸借対照表

沖電気工業株式会社および連結子会社
2005年および2004年3月31日現在

資産	百万円		千USドル (注記2)
	2005	2004	2005
流動資産:			
現金および現金同等物	¥ 49,411	¥ 58,075	\$ 461,787
定期預金	30	20	280
有価証券(注記3)	—	730	—
受取手形および売掛金			
非連結子会社および関連会社に対する受取手形および売掛金	12,831	14,158	119,922
その他	149,240	154,489	1,394,772
控除:貸倒引当金	(1,798)	(1,986)	(16,808)
たな卸資産(注記4)	149,298	138,977	1,395,312
その他の流動資産(注記8)	16,029	15,331	149,808
流動資産合計	375,043	379,795	3,505,075
投資および長期債権:			
非連結子会社および関連会社に対する投資および長期債権(注記5)	14,494	10,753	135,458
その他の投資(注記3)	48,180	45,755	450,284
その他の長期債権	4,271	7,266	39,919
控除:貸倒引当金	(5,453)	(5,159)	(50,965)
投資および長期債権合計	61,492	58,615	574,697
有形固定資産(注記6、10):			
土地	18,247	18,289	170,536
建物	122,528	120,059	1,145,127
機械装置・工具器具および備品	473,125	481,296	4,421,732
建設仮勘定	985	275	9,213
	614,887	619,921	5,746,610
控除:減価償却累計額	(488,416)	(500,259)	(4,564,640)
有形固定資産合計	126,470	119,662	1,181,969
その他資産(注記8)	45,008	51,487	420,641
資産合計	¥ 608,015	¥ 609,560	\$ 5,682,384

負債および資本	百万円		千USドル (注記2)
	2005	2004	2005
流動負債:			
短期借入金(注記6)	¥ 80,092	¥ 86,658	\$ 748,527
1年以内に返済期限が到来する長期借入債務(注記6)	65,202	58,103	609,373
支払手形および買掛金			
非連結子会社および関連会社に対する支払手形および買掛金	7,536	6,742	70,433
その他	103,806	98,015	970,151
未払法人税等	2,327	1,820	21,749
その他の未払費用	43,727	42,375	408,666
その他の流動負債(注記8)	11,136	17,960	104,079
流動負債合計	313,828	311,676	2,932,980
固定負債:			
長期借入債務(注記6)	119,860	146,655	1,120,190
退職給付引当金(注記7)	37,876	33,402	353,990
その他の固定負債	5,631	1,586	52,634
固定負債合計	163,369	181,645	1,526,815
少数株主持分	5,989	5,739	55,973
資本:			
資本金:			
授權株式数 - 2,400,000,000株			
発行済株式数 - 612,335,797株	67,877	67,862	634,372
資本剰余金	37,797	71,150	353,243
利益剰余金(累積欠損金)	14,854	(29,685)	138,823
その他有価証券評価差額金	12,441	10,932	116,272
為替換算調整勘定	(7,925)	(9,619)	(74,067)
控除:自己株式(取得原価)			
2005年3月31日現在 - 753,771株 2004年3月31日現在 - 574,324株	(217)	(141)	(2,030)
資本合計	124,827	110,499	1,166,614
偶発債務(注記16)			
負債および資本合計	¥ 608,015	¥ 609,560	\$ 5,682,384

連結財務諸表注記をご参照ください。

連結損益計算書

沖電気工業株式会社および連結子会社
2005年、2004年および2003年3月31日に終了した各年度

	百万円			千USドル (注記2)
	2005	2004	2003	2005
売上高	¥ 688,542	¥ 654,214	¥585,473	\$ 6,434,975
売上原価	504,340	484,455	445,709	4,713,458
売上総利益	184,202	169,759	139,763	1,721,517
販売費および一般管理費	156,982	148,153	138,395	1,467,124
営業利益	27,220	21,606	1,368	254,393
その他の収益(費用):				
支払利息	(6,724)	(7,464)	(7,513)	(62,843)
受取利息および配当金	1,323	1,074	973	12,370
為替差益(損)純額	561	(2,039)	(1,886)	5,244
投資有価証券等評価損	(1,193)	(1,538)	(7,218)	(11,155)
有形固定資産(処分損)売却益	(1,300)	(4,630)	18,610	(12,155)
厚生年金基金代行返上益(注記7)	—	8,282	—	—
災害損失(注記12)	—	(3,344)	—	—
事業再編損(注記13)	(2,363)	(7,709)	(6,120)	(22,086)
その他、純額	776	(2,041)	(1,447)	7,258
	(8,920)	(19,410)	(4,602)	(83,369)
税金等調整前当期純利益(損失)	18,299	2,195	(3,233)	171,023
法人税等(注記8):				
当年度引当額	2,695	2,555	2,425	25,188
法人税等調整額	4,377	(1,720)	298	40,910
	7,072	835	2,724	66,099
少数株主損益および持分法投資損益調整前当期純利益(損失)	11,226	1,360	(5,958)	104,924
少数株主利益	(297)	(140)	(367)	(2,780)
持分法投資利益(損失)	245	109	(234)	2,295
当期純利益(損失)(注記17)	¥ 11,174	¥ 1,328	¥ (6,560)	\$ 104,439

連結財務諸表注記をご参照ください。

連結株主持分計算書

沖電気工業株式会社および連結子会社
2005年、2004年および2003年3月31日に終了した各年度

	百万円			千USドル (注記2)
	2005	2004	2003	2005
資本金:				
期首残高	¥ 67,862	¥ 67,862	¥ 67,862	\$ 634,227
新株発行による増加高	15	—	—	144
期末残高	¥ 67,877	¥ 67,862	¥ 67,862	\$ 634,372
資本剰余金(注記9):				
期首残高	¥ 71,150	¥ 71,150	¥ 71,150	\$ 664,961
新株発行による増加高	15	—	—	143
資本準備金取崩による減少高	(33,369)	—	—	(311,861)
期末残高	¥ 37,797	¥ 71,150	¥ 71,150	\$ 353,243
利益剰余金(注記9):				
期首残高	¥ (29,685)	¥ (31,004)	¥ (25,180)	\$ (277,434)
当期純利益(損失)	11,174	1,328	(6,560)	104,439
連結子会社の増加に伴う減少高	—	(8)	(4)	—
持分法適用会社の増加に伴う増加高	—	—	741	—
連結子会社の減少に伴う減少高	(4)	—	—	(42)
資本準備金取崩による増加高	33,369	—	—	311,861
期末残高	¥ 14,854	¥ (29,685)	¥ (31,004)	\$ 138,823
その他有価証券評価差額金:				
期首残高	¥ 10,932	¥ 1,513	¥ 2,265	\$ 102,177
期中の増減、純額	1,508	9,419	(751)	14,094
期末残高	¥ 12,441	¥ 10,932	¥ 1,513	\$ 116,272
為替換算調整勘定:				
期首残高	¥ (9,619)	¥ (8,098)	¥ (7,016)	\$ (89,903)
期中の増減、純額	1,694	(1,521)	(1,081)	15,835
期末残高	¥ (7,925)	¥ (9,619)	¥ (8,098)	\$ (74,067)
自己株式(取得原価):				
期首残高	¥ (141)	¥ (100)	¥ (14)	\$ (1,325)
期中の増減、純額	(75)	(41)	(86)	(704)
期末残高	¥ (217)	¥ (141)	¥ (100)	\$ (2,030)
株主持分合計	¥ 124,827	¥ 110,499	¥ 101,323	\$ 1,166,614

連結財務諸表注記をご参照ください。

連結キャッシュ・フロー計算書

沖電気工業株式会社および連結子会社
2005年、2004年および2003年3月31日に終了した各年度

	百万円			千USドル (注記2)
	2005	2004	2003	2005
営業活動によるキャッシュ・フロー:				
当期純利益(損失)	¥ 11,174	¥ 1,328	¥ (6,560)	\$ 104,439
営業活動から得た現金および現金同等物(純額)への 当期純利益(損失)の調整:				
減価償却費	34,245	33,577	39,927	320,049
退職給付引当金繰入額(支払額控除後)	4,490	1,990	6,685	41,970
投資有価証券等評価損	1,193	1,676	7,221	11,155
有価証券および投資有価証券売却益	(3,037)	(1,597)	(1,489)	(28,390)
有形固定資産処分損(売却益)	1,300	4,630	(17,273)	12,155
繰延税金	4,377	(1,720)	298	40,910
その他	1,025	4,685	7,657	9,583
営業資産および営業負債の増減:				
受取手形および売掛金	13,620	10,098	(24,606)	127,289
たな卸資産	(9,014)	17,087	(10,431)	(84,252)
支払手形および買掛金	7,056	12,912	1,146	65,945
未払法人税等	923	(303)	1,333	8,633
その他の未払費用	1,135	7,183	(4,157)	10,609
その他の資産および負債	(9,167)	720	474	(85,678)
営業活動から得た現金および現金同等物(純額)	59,323	92,269	225	554,421
投資活動によるキャッシュ・フロー:				
定期預金および有価証券の減少(増加)	89	(19)	50	841
投資および長期債権の増加	(7,280)	(6,273)	(7,676)	(68,042)
有形固定資産の購入	(33,926)	(24,026)	(23,553)	(317,070)
有形固定資産の売却による収入	1,895	11,117	35,497	17,713
営業の譲受けによる支出	(2,292)	—	—	(21,424)
投資活動(に使用した)から得た現金および現金同等物(純額)	(41,514)	(19,202)	4,317	(387,982)
財務活動によるキャッシュ・フロー:				
短期借入金の純(減少)増加額	(6,843)	(12,355)	966	(63,959)
長期借入	19,182	31,544	31,719	179,273
長期借入債務の返済および償還等による支出	(59,071)	(58,552)	(52,632)	(552,071)
社債の発行による収入	19,942	—	—	186,376
その他	(100)	(4,200)	(130)	(935)
財務活動に使用した現金および現金同等物(純額)	(26,890)	(43,564)	(20,077)	(251,315)
現金および現金同等物に対する為替相場変動の影響額	417	(759)	(717)	3,901
現金および現金同等物の(減少)増加額、純額	(8,664)	28,743	(16,250)	(80,974)
現金および現金同等物の期首残高	58,075	29,294	45,445	542,762
連結子会社の増加に伴う現金および現金同等物の増加額	—	37	99	—
現金および現金同等物の期末残高	¥ 49,411	¥ 58,075	¥ 29,294	\$ 461,787
キャッシュ・フローに関する補足情報:				
当期現金支出額:				
支払利息	¥ 7,123	¥ 7,509	¥ 7,669	\$ 66,576
法人税等	1,771	2,858	1,092	16,555

連結財務諸表注記をご参照ください。

連結財務諸表注記

沖電気工業株式会社および連結子会社

1. 重要な会計方針

沖電気工業株式会社(以下、「当社」とする)および国内連結子会社(以下、海外連結子会社と併せて「沖電気グループ」とする)は、日本の会計基準に従って会計帳簿を保持し、財務諸表を作成しています。また、海外連結子会社はその子会社が所在する国において一般的に公正妥当と認められた会計原則に従って作成した会計帳簿を保持しています。当社の連結財務諸表は、日本で一般的に公正妥当と認められた会計原則に準拠して作成しており、この会計原則は国際会計報告基準における開示要件とは異なる部分があります。また、当社によって日本の財務省に提出された連結財務諸表をもとに組替、編集されたものです。

日本の規則に従って、金額は百万円未満を切り捨てて表記していますので、当連結財務諸表(日本円表示および米国ドル表示)における数値の合計値は、個々の数値の合算値と一致しないことがあります。

また、一部前連結会計年度の金額を当連結会計年度の表示に合わせて組替えています。

当社の連結キャッシュ・フロー計算書は、日本における標準的な様式と若干異なる様式にて作成されています。当社の連結キャッシュ・フロー計算書は、米国会計基準に準じた様式にて表示されていますが、キャッシュ・フロー計算書を作成する上での考え方、および表示の様式は、日本と米国でほとんど同じです。

(b) 連結の基本方針および非連結子会社と関連会社に対する投資についての会計処理

添付の連結財務諸表は当社財務諸表および議決権のある株式を過半数所有することにより、または、その他の手段を通じて実質的に支配している全ての重要な子会社の財務諸表を連結したものです。連結会社間の重要性のある全ての債権債務勘定および内部取引は連結決算の過程で相殺消去しています。支配獲得日において取得資産の時価評価を行った上で、取得した子会社および持分法を適用する関連会社(沖電気グループが一定の影響力を行使しうる会社)の時価評価後の純資産の持分相当と取得原価との間に生じた差額に重要性がある場合は、20年以内の一定期間で定額償却を行うこととしています。

特定の非連結子会社および重要な関連会社に対する投資については、持分法が適用されます。その他の非連結子会社および関連会社に対する投資は取得価額で評価しますが、投資価値に回復可能性のない下落が生じているときは減損処理を行っています。

(c) 外貨換算

(1) 海外連結子会社の財務諸表の換算においては、収益および費用勘定については期中平均為替相場にて円貨換算しており、資本の部を除いた貸借対照表勘定については決算日の為替相場にて円貨換算しています。資本の部の勘定はヒストリカルレート(取得時レート、発生時レートの累積レート)により円貨換算しています。

二種類の換算レートにより換算することで生じる差額については、添付の連結財務諸表上、資本の部の「為替換算調整勘定」として計上されています。

(2) 当社および国内連結子会社においては、外貨建金銭債権債務は、先物為替予約によりヘッジされる債権債務(契約レートにより換算)を除いて、決算日の為替相場により円貨換算しています。

全ての収益、費用については前月平均レートにて円貨換算しています。

為替差損益は発生年度の費用、収益として計上していますが、長期借入金に対する先物為替予約から生じる為替差損益については、貸借対照表に繰延計上した上で、それぞれの契約期間にわたって償却することとしています。

(d) 現金同等物

払込(購入)から満期までの期間が通常3ヶ月以内の流動性の高い短期投資であって、容易に換金可能であり、満期日までの期間が非常に短い金利水準の変動による価値変動のリスクをほとんど負わない投資を現金同等物としています。

(e) 有価証券

満期保有目的の債券は、満期までの期間にわたって、取得価額を券面額まで加算もしくは減算していく償却原価法にて評価しています。市場性のあるその他の有価証券は時価により評価しています。その他の有価証券の取得価額と期末時価との差額については、税効果考慮後の純額を資本の部の「その他有価証券評価差額金」として表示しています。その他の有価証券の売却原価は移動平均法によって計算しています。時価のないその他の有価証券は移動平均法にもとづく原価法によって評価しています。

(f) たな卸資産

たな卸資産は主として以下の方法にもとづく原価法により計上しています。

製品 移動平均法
仕掛品 個別法
原材料および貯蔵品 最終仕入原価法

(g) 有形固定資産および減価償却

有形固定資産については取得価額にて貸借対照表に計上しています。ただし法人税法の認めるところにより、一定の土地、機械装置の取得価額を別の資産の売却益相当と相殺の上減額する場合は、減額後の価額にて計上します。

有形固定資産の減価償却は各々の資産毎に見積られた耐用年数にもとづき、主に定率法にて計算しています。しかしながら1998年4月1日以降に取得された建物(建物付帯設備を除く)は見積耐用年数にもとづき、定額法にて償却しています。金銭的に重要な更新や改良は発生原価をもって資産計上しています。維持費用、修繕費は発生時の費用としています。

(h) 無形固定資産および償却費

ソフトウェアを含む無形固定資産は見積耐用年数にもとづき、定額法にて均等償却しています。

(i) リース取引

リース資産の所有権が借主に移転することが規定されたリース契約によりファイナンス・リースとして処理されるものを除いて、中途解約のできないリース取引は、(そのリース取引がオペレーティング・リースに分類されるかファイナンス・リースに分類されるかどうかにかかわらず)原則として会計上賃貸借取引として処理しています。

(j)退職給付

当社および国内連結子会社は実質的にその全ての従業員を対象とした退職給付制度を採用しています。

なお、当社および国内連結子会社は、平成17年1月1日に厚生年金基金の過去分返上の認可を受け、ポイント制退職金制度及びキャッシュ・バランスプラン型年金制度を導入し、厚生年金基金制度から確定給付企業年金制度へ移行しています。

退職給付引当金は従業員の退職給付に備えるため、退職給付債務および年金資産の見積額を基礎として計上しています。

数理計算上の差異および過去勤務債務は、その発生年度の従業員の平均残存勤務期間内の、それぞれ13～14年および14年で定額法により償却しています。数理計算上の差異の償却額は、翌会計年度より費用または収益として認識しています。

また、一部の国内連結子会社は役員の退職慰労金の支出に備えて、内規にもとづく期末要支給額を引当金として計上しています。

厚生年金基金の代行部分の会計処理方法については注記7の記述を参照してください。

(k)法人税等

税効果は資産負債法により認識しています。資産負債法では、繰延税金資産および繰延税金負債は資産および負債の財務会計上と税務上

の一時差異にもとづき決定し、当該一時差異が解消すると見込まれる時点での実効税率および法令に準拠して計算しています。

(l)ヘッジ会計

先物為替予約取引については、未実現損益を資産または負債として繰延べる繰延ヘッジ会計を採用しています。一定の条件を満たした先物為替取引については、為替レートの変動から生じるリスクに対してヘッジすることを目的とした振当処理法を採用しています。必要な条件を満たした金利スワップ取引については、スワップ後の金利が、スワップ取引のもとになった借入金に始めから適用されていたかのように処理する特例的方法を採用しています。スワップ取引は、変動金利適用の短期借入金、長期借入金および社債に関して、将来に生じるであろう市場リスクをヘッジするために利用されています。

沖電気グループは職務権限および取引量を含め、デリバティブ取引の様々な局面を管理するため、ヘッジ方針を規定しています。この方針にもとづき、沖電気グループは外国通貨の交換レートと金利の変動より発生するリスクをヘッジしています。ヘッジ取引の開始から取引有効性の最終評価までの期間において、沖電気グループは、累計キャッシュ・フローを随時監視し管理するため、また、いかなる市場の変化にも対応するために、すべてのヘッジ方針の有効性を検証しています。

2. 米国ドルによる表示

日本円の米国ドルへの換算は、2005年3月31日現在の為替相場近似値(1USDドル=107円)にて、読者の便宜のために、単なる計算として行

われています。この換算は、このレートあるいは他のレートで、換金あるいは決済される、またはされうということを意味するものではありません。

3. 有価証券

2005年および2004年3月31日現在における時価のある有価証券の内訳は以下のとおりです。

満期保有目的の有価証券で時価のあるもの

	百万円						千USドル		
	2005			2004			2005		
	貸借対照表計上額	時価	差額	貸借対照表計上額	時価	差額	貸借対照表計上額	時価	差額
時価が貸借対照表計上額を超える 満期保有目的の有価証券: 債券(非上場外国債券)	¥ 500	¥ 504	¥ 4	¥ 500	¥ 503	¥ 3	\$ 4,672	\$ 4,715	\$ 42
時価が貸借対照表計上額を超えない 満期保有目的の有価証券: 債券(非上場外国債券)	—	—	—	630	629	—	—	—	—
合計	¥ 500	¥ 504	¥ 4	¥ 1,130	¥ 1,133	¥ 3	\$ 4,672	\$ 4,715	\$ 42

その他の有価証券で時価のあるもの

	百万円						千USドル		
	2005			2004			2005		
	取得額?	貸借対照表 計上額	差額	取得額?	貸借対照表 計上額	差額	取得額?	貸借対照表 計上額	差額
貸借対照表計上額が取得原価を超える									
その他の有価証券:									
株式	¥ 9,958	¥ 31,410	¥ 21,451	¥ 12,349	¥ 31,246	¥ 18,896	\$ 93,068	\$ 293,551	\$ 200,483
債券	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他	397	430	33	397	426	29	3,713	4,027	313
小計	10,355	31,840	21,485	12,746	31,673	18,926	96,781	297,579	200,797
貸借対照表計上額が取得原価を超えない									
その他の有価証券:									
株式	3,477	3,127	(350)	2,434	1,913	(521)	32,502	29,228	(3,274)
債券	—	—	—	101	100	(1)	—	—	—
その他	100	96	(4)	100	98	(2)	943	898	(44)
小計	3,578	3,223	(355)	2,637	2,111	(525)	33,446	30,127	(3,319)
合計	¥ 13,934	¥ 35,064	¥ 21,130	¥ 15,383	¥ 33,784	¥ 18,400	\$ 130,227	\$ 32,706	\$ 197,478

2005年および2004年3月31日現在におけるその他の有価証券で時価のないものの内訳は以下のとおりです。

	百万円		千USドル
	貸借対照表計上額		2005
	2005	2004	
その他の投資有価証券			
中期国債ファンド	¥ 100	¥ 100	\$ 935
マネーマネージメント・ファンド	2,701	2,600	25,243
非上場株式	11,729	10,661	109,623
投資事業有限責任組合への出資	577	—	5,395

4. たな卸資産

2005年および2004年3月31日現在のたな卸資産の内訳は以下のとおりです。

	百万円		千USドル
	2005	2004	2005
製品	¥ 48,404	¥ 40,295	\$ 452,380
仕掛品	60,131	61,215	561,974
原材料および貯蔵品	40,762	37,466	380,958
	¥ 149,298	¥ 138,977	\$ 1,395,312

5. 非連結子会社および関連会社に対する投資および長期債権

2005年および2004年3月31日現在の非連結子会社、関連会社に対する投資および長期債権の内訳は以下のとおりです。

	百万円		千USドル
	2005	2004	2005
投資(評価方法別):			
持分法	¥ 4,564	¥ 4,407	\$ 42,656
原価法	4,176	3,648	39,029
長期貸付金・保証金等	5,753	2,697	53,772
	¥ 14,494	¥ 10,753	\$ 135,458

6. 短期借入金および長期借入債務

2005年および2004年3月31日現在の短期借入金は以下のとおりです。

	百万円		千USドル
	2005	2004	2005
主として銀行からの借入金 (平均適用金利2005年年率1.4% 2004年年率1.3%):			
担保付	¥ —	¥ —	\$ —
無担保	80,092	86,658	748,527
	¥ 80,092	¥ 86,658	\$ 748,527

2005年および2004年3月31日現在の長期借入債務の内訳は以下のとおりです。

	百万円		千USドル
	2005	2004	2005
銀行、保険会社、政府機関からの借入金 (最長返済期限:2022年まで)			
担保付	¥ 1,474	¥ 1,790	\$ 13,775
無担保	124,089	148,468	1,159,713
	125,563	150,258	1,173,489
無担保転換社債:			
2008年満期ユーロ円建転換社債型新株予約権付社債、利率なし*	20,000	—	186,915
円建て無担保普通社債:			
2006年償還期限、利率3.15%の社債	20,000	20,000	186,915
2007年償還期限、利率2.65%の社債	9,500	9,500	88,785
2004年償還期限の変動金利**の社債	—	5,000	—
2005年償還期限、利率3.00%の社債	10,000	10,000	93,457
2004年償還期限、利率2.82%の社債	—	10,000	—
	185,063	204,758	1,729,563
控除:1年以内に償還期限の 到来する社債および1年以内に返済予定の長期借入金	(65,202)	(58,103)	(609,373)
	¥ 119,860	¥ 146,655	\$ 1,120,190

*2008年満期ユーロ円建転換社債型新株予約権付社債を2004年11月26日に発行しました。

この社債の行使期間は(それ以前に償還、購入、キャンセルされない限りにおいて)2004年12月10日から2008年11月12日までであり、1株あたり504円の転換価格で全額払込済で追加払込義務のない当社の普通株式を取得する権利を与えるものです。

**表示の金利は10年物円建スワップ金利と連動しています。(当該社債の発行日現在の金利1.858%)

2005年3月31日現在、1,474百万円(13,775千USドル)の有形固定資産を、合計で2,354百万円(22,005千USドル)の短期借入金および長期借入金の担保として差し入れています。

日本の慣行では、銀行からの短期借入および長期借入は、銀行取引約定にもとづいて行われます。この取引約定にもとづき、貸し手である銀行からの要請があれば、現在および将来の負債に対して担保差入れおよび債務保証(あるいは状況に応じて追加の担保差入れおよび債務保証)が行われることになっていきます。さらに、返済期限が到来した債務もしくは債務不履行となった債務を、債務者の銀行預金と相殺する権利を銀行が有していることを規定しています。

2005年3月31日以降に到来する長期借入債務の年度毎の期限償還および返済予定額は以下のとおりです。

3月31日に終了する会計年度	百万円	千USドル
2006	¥ 65,202	\$ 609,373
2007	57,350	535,985
2008	30,263	282,838
2009	28,462	266,007
2010年以降	3,783	35,358
	¥ 185,063	\$ 1,729,563

沖電気グループは各国の多数の金融機関から実質的な資金の調達を行うことが可能です。2005年3月31日現在、沖電気グループにおいて利用可能な未使用の借入枠の合計は、126,965百万円(1,186,596千USドル)です。

7. 退職給付

当社および国内連結子会社は、確定給付企業年金制度、適格退職年金制度および退職一時金制度を設けています。一部の海外連結子会社でも確定給付型および確定拠出型の退職金制度を設けています。また、従業員の退職等に際して割増退職金を支払う場合があります。

なお、2005年1月1日より、当社および一部の連結子会社は、これらの制度を変更しました。注記(j)の「退職給付」を参照してください。

当社および連結子会社のうち36社は、2005年1月1日に設立されたOKI企業年金基金に加入しています。

退職給付制度の概要は以下のとおりです。

2005年および2004年3月31日現在の退職給付債務:

	百万円		千USドル
	2005	2004	2005
退職給付債務	¥ (178,882)	¥ (176,776)	\$ (1,671,802)
年金資産の公正価値	73,847	66,636	690,164
未積立退職給付債務	(105,035)	(110,140)	(981,637)
会計基準変更時差異の未処理額	43,333	47,844	404,981
未認識数理計算上の差異	39,361	29,715	367,863
未認識過去勤務債務	(15,087)	—	(141,000)
連結貸借対照表計上額	(37,427)	(32,580)	(349,793)
退職給付引当金	¥ (37,427)	¥ (32,580)	\$ (349,793)

(1) 当社および一部の国内連結子会社は、確定給付企業年金法の施行に伴い、厚生年金基金の代行部分について、平成16年2月1日に厚生労働大臣から将来分支給義務免除の認可を受けました。その認可日において代行部分に係る退職給付債務と年金資産を消滅したものとみなして会計処理をしています。

(2) 一部の連結子会社は退職給付債務の算定において、会計基準の認める簡便法を採用しています。

2005年、2004年および2003年3月31日に終了した会計年度の退職給付費用の内訳:

	百万円			千USドル
	2005	2004	2003	2005
勤務費用	¥ 5,585	¥ 7,881	¥ 8,877	\$ 52,199
利息費用	4,887	8,069	8,682	45,676
期待運用収益	(2,657)	(4,422)	(5,615)	(24,831)
会計基準変更時差異の費用処理額	4,511	5,968	6,425	42,167
数理計算上の差異の費用処理額	2,753	6,771	5,440	25,737
過去勤務債務の費用処理額	(274)	(560)	(672)	(2,563)
退職給付費用合計	¥ 14,807	¥ 23,707	¥ 23,138	\$ 138,386
厚生年金基金の代行部分返上に伴う損益	¥ —	¥ 8,282	¥ —	\$ —

(1) 上記の退職給付費用に加えて、2005年および2004年3月31日に終了した会計年度において、それぞれ1,947百万円(18,197千USドル)と3,369百万円が割増退職一時金として支払われました。

(2) 厚生年金基金への従業員の拠出金額は、上記の退職給付費用から控除しています。

(3) 簡便法を採用している一部の連結子会社の退職給付費用は勤務費用に含まれています。

(4) 厚生年金基金の代行部分返上に伴う利益については、2005年および2004年3月31日における退職給付債務に関する上記の表の注記(1)を参照してください。

数理計算上の仮定:

	3月31日に終了した年度	
	2005	2004
保険数理による原価計算法:	予測単位積増方式	
割引率:	2.10%	2.80%
期待運用収益率:	4.00%	4.00%
過去勤務債務の償却期間:	14年(それらの債務が発生した時点における従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数による定額法により、翌連結会計年度から償却されます。)	
数理計算上の差異の償却期間:	13~14年(それらの差異が発生した時点における従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数による定額法により、翌連結会計年度から償却されます。)	
会計基準変更時差異の償却期間:	15年。ただし適用初年度に一括費用処理をしている連結子会社を除きます。	

8. 法人税等

2005年および2004年3月31日現在の繰延税金資産(負債)の内訳は、以下のとおりです。

	百万円		千USドル
	2005	2004	2005
繰延税金資産:			
繰越欠損金	¥ 22,245	¥ 30,925	\$ 207,905
賞与引当金超過	5,623	5,329	52,553
退職給与引当金超過	14,882	11,757	139,085
たな卸資産評価損否認	1,388	1,267	12,977
その他	7,172	5,723	67,035
繰延税金資産小計	51,312	55,002	479,557
控除:評価性引当額	(16,752)	(16,004)	(156,562)
繰延税金資産合計	34,560	38,997	322,994
繰延税金負債:			
税法上の準備金(特別償却準備金)	(18)	(21)	(176)
その他有価証券評価差額金	(8,679)	(7,555)	(81,117)
その他	(64)	(44)	(604)
繰延税金負債合計	(8,763)	(7,620)	(81,898)
繰延税金資産の純額	¥ 25,797	¥ 31,377	\$ 241,096

繰延税金資産の純額は以下のとおり連結貸借対照表に含まれています。

	百万円		千USドル
	2005	2004	2005
その他の流動資産	¥ 10,620	¥ 10,784	\$ 99,259
その他の資産	15,212	20,592	142,173
その他の流動負債	(31)	—	(293)
その他の負債	(4)	—	(43)
繰延税金資産の純額	¥ 25,797	¥ 31,377	\$ 241,096

当社および国内連結子会社の法人税等には、法人税、住民税および事業税が含まれており、2005年3月31日に終了した会計年度の法定実効税率は41%、2004年および2003年の3月31日に終了した会計年度は約42%です。海外連結子会社の法人税等は、通常各法人の設立国で課される税率を基礎として計上されます。

2005年、2004年および2003年3月31日に終了した会計年度の法定実効税率と実効税率(税金等調整前当期純損益に対する百分率)との差異の主な内訳は以下のとおりです。

	2005	2004	2003
法定実効税率	41.0%	42.0%	42.0%
調整:			
繰延税金資産に対する評価性引当額の増加	4.0	(38.2)	(55.4)
交際費等永久に損金に算入されない項目	2.9	19.5	(13.4)
受取配当金等永久に益金に算入されない項目	(1.0)	—	4.3
当社の法定実行税率と海外連結子会社の税率差異	(2.5)	—	—
住民税均等割等	—	6.7	—
連結子会社の期首繰越欠損金	—	—	(8.7)
未実現損益に係る認識一時差異の限度超過	—	—	(9.4)
税率変更による期末繰延税金資産の減額修正	—	—	(37.7)
その他	(6.3)	6.3	(0.3)
実効税率	38.1%	36.3%	(78.6)%

9. 資本の部

商法は、利益準備金および資本準備金の合計が資本金の25%に達するまで、利益処分として支払った金額の10%以上を利益準備金として積み立てることを規定しています。

また、商法は、資本準備金および利益準備金の合計額が資本金の25%を超過する場合、当該超過額は、株主総会決議によって処分の対象とすることができるものと規定しています。

利益準備金および資本準備金はともに、株主総会決議により欠損を填補するために使用することができます。あるいは取締役会決議により資本に組み入れることができます。商法に従い、当社は利益剰余金に含まれる利益準備金を準備しています。

2004年6月には欠損を填補するために、資本準備金33,369百万円(311,860千USD)を取り崩しています。

10. 減価償却費

2005年、2004年および2003年3月31日に終了した会計年度における有形固定資産の減価償却費は、以下のとおりです。

	百万円			千USD
	2005	2004	2003	2005
	¥ 25,549	¥ 24,441	¥ 29,958	\$ 238,778

11. 研究開発費

2005年、2004年および2003年3月31日に終了した会計年度における研究開発費は、以下のとおりです。

	百万円			千USD
	2005	2004	2003	2005
	¥ 21,987	¥ 16,117	¥ 15,217	\$ 205,493

12. 災害損失

2003年5月26日の三陸南地震および2003年7月26日の宮城県北部を震源とする地震により、半導体生産子会社の宮城沖電気株式会社の生産ラインが一時的に停止しました。2004年3月31日に終了した年度において、この地震に伴って発生した損害を認識しています。

13. 事業再編損

2005年3月31日に終了した会計年度における、当社ならびに国内、北米および欧州の一部連結子会社の事業再編に伴って発生した事業再編損は、以下のとおりです。

	2005	百万円 2004	2003	千USドル 2005
特別退職金	¥ 2,363	¥ 3,369	¥ 5,657	\$ 22,086
事業再編に伴うたな卸資産評価損等	—	4,339	463	—

14. デリバティブとヘッジ取引

沖電気グループは、営業債権および債務から生じる外国為替の変動リスクを回避するため、包括的な為替予約取引および通貨スワップ取引を利用しています。また、変動金利の短期借入金および長期借入金について将来の金利の変動リスクを回避し金融費用の平準化を図る目的で金利スワップ取引を利用しています。取り組み方針としては、市場価格の変動が大きい投機目的のデリバティブ取引は利用していません。また、信用度の高い金融機関を取引相手としているため、取引相手方の取引不

履行による信用リスクはほとんどないと判断しています。沖電気グループは、デリバティブ取引についての内部方針を有しており、取引管理者の義務、取引の管理体制および報告体制を規定しています。デリバティブ取引は、業務手続と取引限度額を監視する内部統制制度を有する財務部門において日々の管理が行われており、経理部門において、金融機関に対する取引内容の確認が行われます。

15. リース取引

会計上賃貸借処理されるファイナンスリースに関わる支払リース料は、2005年、2004年および2003年3月31日に終了した会計年度において、それぞれ、2,415百万円(22,575千USドル)、3,242百万円および2,970百万円です。

会計上賃貸借処理されるファイナンスリースの対象となる資産の内容は、以下のとおりです。

	2005	百万円 2004	千USドル 2005
機械装置・工具器具備品	¥ 11,930	¥ 12,140	\$ 111,504
その他	317	133	2,971
控除:減価償却累計額	5,006	5,727	46,786
	¥ 7,242	¥ 6,546	\$ 67,690

償却額は、リース対象資産のリース期間を耐用年数とし、残存価格を零とする定額法により計算しています。

会計上賃貸借処理されるファイナンスリースの対象となる資産の未経過リース料は以下のとおりです。

3月31日に終了する会計年度	百万円	千USドル
2006年	¥ 2,361	\$ 22,067
2007年以降	4,881	45,622
	¥ 7,242	\$ 67,690

契約期間が1年超で解約不能のオペレーティングリース契約の対象資産にかかる2005年3月31日現在の未経過リース料は以下のとおりです。

3月31日に終了する会計年度	百万円	千USドル
2006年	¥ 2,751	\$ 25,713
2007年以降	2,936	27,446
	¥ 5,688	\$ 53,159

16. 偶発債務

2005年3月31日現在、当社および連結子会社の偶発債務は以下のとおりです。

	百万円	千USドル
受取手形割引高および受取手形裏書譲渡高	¥ 149	\$ 1,396
債務保証:		
非連結子会社および関連会社に対するもの	1,656	15,477
その他	2,681	25,062
	¥ 4,487	\$ 41,935

17. 1株当たり情報

1株当たり当期純利益に関する会計基準に従い、1株当たり当期純利益(損失)は、各年度の普通株式に係る当期純利益(損失)と普通株式の発行済株式数(自己株式控除後)の加重平均をもとに算出しています。また、希薄化後1株当たり当期純利益(損失)は各年度の当期純利益(損失)と普通株式の発行済株式数(自己株式控除後)の加重平均に転換社債の普通株式への潜在的転換を加味した株式数をもとに算出しています。

1株当たり当期純資産は各会計年度末の普通株式の発行済株式数(自己株式控除後)をもとに算出しています。

	円			USドル
	2005	2004	2003	2005
当期純利益(損失):				
基本	¥18.27	¥ 2.17	¥ (10.72)	\$ 0.17
希薄化後	17.87	2.17	—	0.16

	円		USドル
	2005	2004	2005
純資産額	¥ 204.11	¥ 180.66	\$ 1.90

2003年3月31日に終了した会計年度における希薄化後利益(損失)を記載していないのは、当期純損失が計上されたためです。

18. ストックオプションの概要

2005年3月31日現在における、商法の規定に基づくストックオプションに関する内容は以下のとおりです。

株主による議決の日付	2000年6月29日	2001年6月28日	2002年6月27日	2003年6月27日	2004年6月29日
付与対象者	取締役11名、 執行役員14名	取締役11名、 執行役員14名	取締役9名、 執行役員14名	取締役8名、 執行役員15名、 執行に参画する幹部社 員12名	取締役9名、執行役員13 名執行に参画する幹部 社員10名および子会社 取締役4名
付与された権利の目的と なる株式の種類	普通株式	普通株式	普通株式	普通株式	普通株式
付与された権利の目的と なる株式の数	341,000株	334,000株	189,000株	815,000株	452,000株
権利行使価格	866円	613円	271円	384円	458円
権利行使期間	2002年7月1日～ 2005年6月30日	2003年7月1日～ 2006年6月30日	2004年7月1日～ 2007年6月30日	2005年7月1日～ 2013年6月26日	2006年7月1日～ 2014年6月28日

2005年6月29日開催の定時株主総会において、商法および当社定款第12条に従い、取締役、執行役員、執行に参画する一部の幹部社員、および一部の子会社取締役に442,000株を上限とした普通株を購入する選択権を付与するストックオプションが承認されました。

ストックオプションの行使価額については、東京証券取引所における付与日前1ヶ月間の終値の平均価格と付与日前日の終値との高い方の価額に1.05を乗じたものが適用されます。

株式分割、株式併合、市場価格より低額での株式新規発行が行われた場合には、規定された計算式にて行使価格が補正されることになります。

ストックオプションの行使期間は、2007年7月1日から2015年6月28日までです。

19. セグメント情報

沖電気グループは事業区分を、「情報」、「通信」、「電子デバイス」および「その他」としています。

2005年、2004年および2003年3月31日に終了した会計年度の事業セグメント情報は以下のとおりです。

3月31日に終了した年度	百万円						
	2005						
	情報	通信	電子デバイス	その他	合計	消去または全社	連結
外部顧客に対する売上高	¥ 335,805	¥ 135,253	¥ 150,721	¥ 66,761	¥ 688,542	¥ —	¥ 688,542
セグメント間の内部売上高または振替高	9,020	7,108	5,595	34,585	56,310	(56,310)	—
売上高合計	344,825	142,362	156,316	101,347	744,852	(56,310)	688,542
営業費用	330,573	134,464	144,301	97,384	706,724	(45,402)	661,322
営業利益	¥ 14,252	¥ 7,897	¥ 12,014	¥ 3,963	¥ 38,128	¥ (10,908)	¥ 27,220
資産	¥ 222,276	¥ 91,038	¥ 150,662	¥ 66,496	¥ 530,473	¥ 77,541	¥ 608,015
減価償却費	¥ 11,561	¥ 2,519	¥ 16,758	¥ 1,478	¥ 32,317	¥ 1,927	¥ 34,245
資本的支出	¥ 11,680	¥ 4,164	¥ 23,027	¥ 1,791	¥ 40,663	¥ 3,886	¥ 44,550

3月31日に終了した年度	百万円						
	2004						
	情報	通信	電子デバイス	その他	合計	消去または全社	連結
外部顧客に対する売上高	¥ 360,308	¥ 104,591	¥ 132,151	¥ 57,163	¥ 654,214	¥ —	¥ 654,214
セグメント間の内部売上高または振替高	11,722	8,848	5,954	32,438	58,963	(58,963)	—
売上高合計	372,031	113,440	138,106	89,601	713,178	(58,963)	654,214
営業費用	347,999	110,053	135,758	86,811	680,623	(48,014)	632,608
営業利益	¥ 24,031	¥ 3,386	¥ 2,348	¥ 2,789	¥ 32,555	¥ (10,949)	¥ 21,606
資産	¥ 218,867	¥ 93,406	¥ 145,142	¥ 59,313	¥ 516,730	¥ 92,830	¥ 609,560
減価償却費	¥ 12,530	¥ 2,938	¥ 15,222	¥ 9	¥ 30,700	¥ 2,876	¥ 33,577
資本的支出	¥ 11,614	¥ 2,514	¥ 16,191	¥ —	¥ 30,320	¥ 2,997	¥ 33,318

3月31日に終了した年度	百万円						
	2003						
情報	通信	電子デバイス	その他	合計	消去または全社	連結	
外部顧客に対する売上高	¥ 330,383	¥ 85,717	¥ 119,224	¥ 50,147	¥ 585,473	¥ —	¥ 585,473
セグメント間の内部売上高または振替高	11,468	9,200	5,579	33,204	59,453	(59,453)	—
売上高合計	341,851	94,918	124,803	83,352	644,926	(59,453)	585,473
営業費用	322,011	103,109	125,763	82,333	633,218	(49,113)	584,104
営業利益(損失)	¥ 19,840	¥ (8,191)	¥ (960)	¥ 1,018	¥ 11,707	¥(10,339)	¥ 1,368
資産	¥ 251,376	¥ 94,244	¥ 147,220	¥ 59,796	¥ 552,638	¥ 70,252	¥ 622,891
減価償却費	¥ 14,173	¥ 4,242	¥ 17,795	¥ 1,556	¥ 37,769	¥ 2,158	¥ 39,927
資本的支出	¥ 9,831	¥ 1,376	¥ 14,330	¥ 809	¥ 26,347	¥ 159	¥ 26,507

3月31日に終了した年度	千USD						
	2005						
情報	通信	電子デバイス	その他	合計	消去または全社	連結	
外部顧客に対する売上高	\$ 3,138,372	\$ 1,264,049	\$ 1,408,613	\$ 623,941	\$ 6,434,975	\$ —	\$ 6,434,975
セグメント間の内部売上高または振替高	84,299	66,438	52,293	323,230	526,261	(526,261)	—
売上高合計	3,222,671	1,330,488	1,460,906	947,171	6,961,237	(526,261)	6,434,975
営業費用	3,089,469	1,256,680	1,348,616	910,133	6,604,900	(424,317)	6,180,582
営業利益	\$ 133,201	\$ 73,807	\$ 112,289	\$ 37,038	\$ 356,337	\$ (101,943)	\$ 254,393
資産	\$ 2,077,350	\$ 850,826	\$ 1,408,058	\$ 621,461	\$ 4,957,696	\$ 724,687	\$ 5,682,384
減価償却費	\$ 108,051	\$ 23,546	\$ 156,622	\$ 13,814	\$ 302,034	\$ 18,015	\$ 320,049
資本的支出	\$ 109,162	\$ 38,923	\$ 215,208	\$ 16,739	\$ 380,034	\$ 36,324	\$ 416,358

(1) 事業区分は製品・サービスの種類および販売方法等の類似性を考慮して区分しています。

(2) 営業費用のうち、「消去または全社」の項目に含めた配賦不能営業費用の金額は、2005年、2004年および2003年3月31日に終了した会計年度においてそれぞれ、10,921百万円(102,067千USD)、11,019百万円、10,266百万円であり、その主なものは、当社の一般管理部門にかかる費用および共通的な研究開発費です。

(3) 資産のうち、「消去または全社」の項目に含めた資産の金額は、2005年、2004年および2003年3月31日に終了した会計年度においてそれぞれ、162,189百万円(1,515,785千USD)、163,503百万円、150,535百万円であり、その主なものは、当社の余資運用資金、長期投資資金および一般管理部門にかかる資産です。

(4) 減価償却費および資本的支出には、長期前払費用の償却費およびその増加額が含まれています。

2005年、2004年および2003年3月31日に終了した会計年度の当社および連結子会社の地域別セグメント情報は以下のとおりです。

3月31日に終了した年度	百万円						
	2005						
	日本	北米	欧州	その他	合計	消去	連結
外部顧客に対する売上高	¥ 513,981	¥ 58,445	¥ 79,517	¥ 36,597	¥ 688,542	¥ —	¥ 688,542
地域間売上高	128,151	431	2,228	80,236	211,048	(211,048)	—
売上高合計	642,133	58,876	81,746	116,833	899,590	(211,048)	688,542
営業費用	617,037	57,951	80,870	114,410	870,271	(208,948)	661,322
営業利益	¥ 25,095	¥ 924	¥ 875	¥ 2,423	¥ 29,319	¥ (2,099)	¥ 27,220
資産	¥ 628,705	¥ 24,579	¥ 50,886	¥ 33,803	¥ 737,975	¥(129,960)	¥ 608,015

3月31日に終了した年度	百万円						
	2004						
	日本	北米	欧州	その他	合計	消去	連結
外部顧客に対する売上高	¥ 494,786	¥ 53,025	¥ 72,564	¥ 33,837	¥ 654,214	¥ —	¥ 654,214
地域間売上高	113,315	470	3,953	73,065	190,805	(190,805)	—
売上高合計	608,102	53,496	76,518	106,902	845,020	(190,805)	654,214
営業費用	590,124	52,243	74,233	107,214	823,815	(191,207)	632,608
営業利益(損失)	¥ 17,977	¥ 1,252	¥ 2,285	¥ (311)	¥ 21,204	¥ 401	¥ 21,606
資産	¥ 631,260	¥ 23,685	¥ 39,863	¥ 33,753	¥ 728,563	¥ (119,002)	¥ 609,560

3月31日に終了した年度	百万円						
	2003						
	日本	北米	欧州	その他	合計	消去	連結
外部顧客に対する売上高	¥ 447,583	¥ 52,942	¥ 60,982	¥ 23,964	¥ 585,473	¥ —	¥ 585,473
地域間売上高	98,901	1,610	2,340	72,901	175,753	(175,753)	—
売上高合計	546,484	54,552	63,323	96,866	761,226	(175,753)	585,473
営業費用	547,465	55,004	60,889	96,788	760,148	(176,043)	584,104
営業利益(損失)	¥ (980)	¥ (451)	¥ 2,434	¥ 77	¥ 1,078	¥ 289	¥ 1,368
資産	¥ 648,147	¥ 26,022	¥ 37,664	¥ 37,321	¥ 749,155	¥ (126,264)	¥ 622,891

3月31日に終了した年度	千USドル						
	2005						
	日本	北米	欧州	その他	合計	消去	連結
外部顧客に対する売上高	\$ 4,803,569	\$ 546,217	\$ 743,158	\$ 342,030	\$ 6,434,975	\$ —	\$ 6,434,975
地域間売上高	1,197,679	4,030	20,831	749,871	1,972,412	(1,972,412)	—
売上高合計	6,001,248	550,248	763,989	1,091,901	8,407,388	(1,972,412)	6,434,975
営業費用	5,766,709	541,606	755,803	1,069,255	8,133,375	(1,952,792)	6,180,582
営業利益	\$ 234,538	\$ 8,641	\$ 8,185	\$ 22,646	\$ 274,012	\$ (19,619)	\$ 254,393
資産	\$ 5,875,752	\$ 229,718	\$ 475,577	\$ 315,923	\$ 6,896,971	\$ (1,214,587)	\$ 5,682,384

2005年、2004年および2003年3月31日に終了した会計年度の海外売上高(当社および国内連結子会社の輸出売上高と海外連結子会社の日本向け輸出売上高を除いた売上高)はそれぞれ203,023百万円(1,897,419千USドル)、189,840百万円、157,856百万円であり、連結売上高に占める割合はそれぞれ29.5%、29.0%、27.0%です。

20. 後発事象

2005年3月31日に終了した年度の連結財務諸表に反映されていない内容として、2005年6月29日開催の定時株主総会において、当社の利益処分案が以下の通り決議されました。

	百万円	千USドル
配当金(1株あたり3円=0.02ドル)	¥ 1,834	\$ 17,148



■ Certified Public Accountants
Hibiya Kokusai Bldg.
2-2-3, Uchisaiwai-cho
Chiyoda-ku, Tokyo, Japan 100-0011
C.P.O. Box 1196, Tokyo, Japan 100-8641

■ Tel: 03 3503 1100
Fax: 03 3503 1197

独立監査人による監査報告書

沖電気工業株式会社
取締役会御中

当監査法人は、日本円で表示された沖電気工業株式会社の2005年3月31日および2004年3月31日現在の連結貸借対照表ならびに2005年3月31日までに終了した各三年度の連結損益計算書、連結剰余金計算書、連結キャッシュ・フロー計算書について監査を行った。この連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は、監査に基づき、連結財務諸表に対する意見を表明することにある。

当監査法人は、日本において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に連結財務諸表に重要な虚偽の表示がないかどうかの合理的な保証を得るために監査を計画し遂行することを求めている。監査は、試査を基礎として行われ、財務諸表の金額および開示項目を支える証拠を審査することを含んでいる。また、経営者が採用した会計方針およびその適用方法ならびに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することを含んでいる。当監査法人は、監査の結果として意見表明のための合理的な基礎を得たと判断している。

当監査法人は、上記の財務諸表が、日本において一般に公正妥当と認められる企業会計原則に準拠して、沖電気工業株式会社および連結子会社の2005年3月31日および2004年3月31日現在の財政状態ならびに2005年3月31日をもって終了する三連結会計年度の経営成績およびキャッシュ・フローの状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

添付の連結財務諸表に含まれる、2005年3月31日現在をもって終了した年度に係わる米ドルで表示された金額は、単に読者の便宜のために記載されている。当監査法人の監査は米ドルから日本円への換算も含んでおり、当監査法人は連結財務諸表の注記2に述べられた基準で換算されているものと認める。

新日本監査法人

2005年6月29日

注:本監査報告書は、Oki Electric Industry Co., Ltd.
Financial Report 2005に掲載されている"Report of
Independent Auditors"を翻訳したものです。

A MEMBER OF ERNST & YOUNG GLOBAL

投資家情報

創業

1881年

設立

1949年11月1日

株式数

授權株式数:2,400,000,000株

発行済株式数:612,335,797株

株主数

99,735名

株式上場

東京・大阪証券取引所市場第1部

名義書換代理人

みずほ信託銀行株式会社

〒103-8670 東京都中央区八重洲1丁目2番1号

お問い合わせ先

沖電気工業株式会社 広報部

〒105-8460 東京都港区虎ノ門1丁目7番12号

Tel: 03-3501-3111

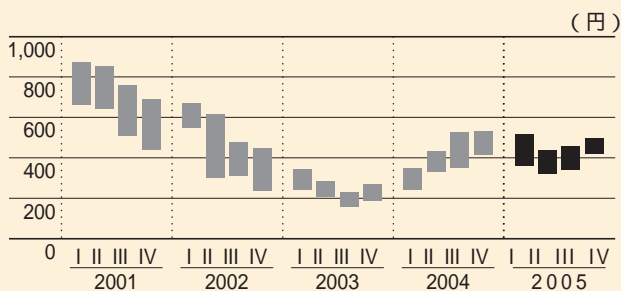
Fax: 03-3581-5522

E-mail: ir-info@oki.com

URL: <http://www.oki.com/jp/>

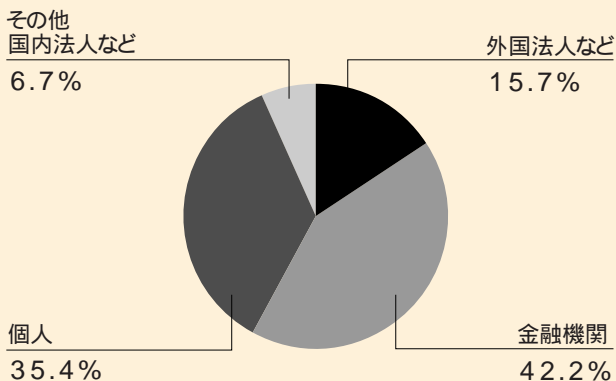
株価の推移(東京証券取引所)

(3月31日に終了した各年度)



所有者別持株比率

(2005年3月31日現在)



OKI

沖電気工業株式会社

本社

〒105-8460 東京都港区虎ノ門1-7-12(新虎ノ門ビル)

電話:03-3501-3111

<http://www.oki.com/jp/>